

図書館だより

開館時間(共通) 9時～17時30分

☎ 中央図書館 0558-76-5566

☎ 葦山図書館 055-949-8605

URL <http://www.izunokuni.library-town.com/>



今月のおすすめ

一般

【中央】
【葦山】

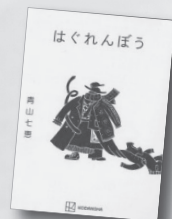


リバー
奥田英朗／著
集英社

同一犯か、模倣犯か。渡良瀬川河川敷で相次ぐ事件は、十年前の未解決連続殺人事件と酷似した手口。関係者の苦悩と悔恨は、真実を暴き出せるのか。圧巻の犯罪小説。

一般

【葦山】



はぐれんぼう
青山七恵／著
講談社

クリーニング店で働く優子は、持ち主が長く引き取りにこない衣服「はぐれんぼちゃん」たちを持ち帰る。翌朝、それらが体全体を覆っていた。救済と癒しの物語。

一般

【中央】



やっかいな食卓
御木本あかり／著
小学館

「義母さん、うちの子に食べ物を与えないでください」。独りを楽しむ凜子は、次男家族と暮らすことに。ただし食卓は別で。69歳大型新人の滋味あふれる家族「食」小説。

児童

【葦山】



そうなのよ
内田麟太郎／文
高畠純／絵 絵本館

カバは頭から木がはえた。「な、なんで?」。ヘビは鼻ひげがはえてきた。「ど、どうして?」。そうなのね、そうなのよ。ヘンテコで心が自由になるナンセンス絵本。

新着本コーナーから

- | | | |
|----|-----------------|--------------------|
| 一般 | 仕掛島 | 東川篤哉／著【中央・葦山】 |
| 一般 | あなたへの挑戦状 | 阿津川辰海・斜線堂有紀／著【中央】 |
| 一般 | 濱地健三郎の呪える事件簿 | 有栖川有栖／著【中央】 |
| 一般 | 夏日狂想 | 窪美澄／著【葦山】 |
| 一般 | 家事は大変って気づきましたか? | 阿古真理／著【葦山】 |
| 一般 | 苦手から始める作文教室 | 津村記久子／著【葦山】 |
| 一般 | 真夜中の密室 | ジェフリー・ディーヴァー／著【中央】 |

12月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	⑤	6	7	8	9	⑩
11	⑫	13	⑭	⑮	16	17
18	⑰	20	⑱	22	23	⑳
25	㉔	27	㉖	㉗	㉘	㉙
①	②	③	④	5	6	7

○ 中央休館日 □ 葦山休館日
◇ 両館休館日 ☆ おはなし会

12月のおはなし会

中央図書館 10日(土) 11時～
葦山図書館 10日(土) 11時～
24日(土) 11時～
※事前申し込み不要

くぬぎ会館こども広場
15日(木) 10時10分～
※予約制 ☎ 0558-76-1346

お知らせ

2023年大河ドラマ関連本を展示しています

大河ドラマ「どうする家康」の関連本を各館で展示しています。

徳川家康については、たくさんの小説や静岡県内に関連する本もあります。ドラマとともに本もぜひ読んでみてください。

なお、昨年12月から設置していました大河ドラマ「鎌倉殿の13人」関連本コーナーは、12月末をもって終了します。展示していた本は請求記号(背ラベル)の場所にしますので、今後もしもご利用ください。

文化財通信

その210

鎌倉時代だけではない！
伊豆の国市各所に散らばる至宝
第9回 葦山中学区〔その3〕

☎ 文化財課 055-948-1428



▲写真1 反射炉のれんが

鎌倉時代だけではない！伊豆の国市各所に散らばる至宝の最終回となる今号では「葦山反射炉」についてご紹介します。

葦山反射炉は今から約160年前の江戸時代の終わりに、鉄を溶かして大砲をつくるために建てられた溶解炉です。実際に稼働した反射炉では、国内に唯一現存しており、国の史跡に指定され、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産としても登録されているため、知っている人も多いと思います。

しかし、葦山反射炉のすごいところは、現存している本体だけではなく、反射炉の周りの発掘調査で見つかった出土品からもうかがうことができます。



▲写真2 弾の鋳型

横22cm、高さ9・1cm、重さ約7kgと、れんがとしてはとても大型です。れんがは鉄が溶ける温度である1,500℃に耐えられるように良質な粘土を使って作られており、日本で初めて生産された耐火れんがとも言われています。

写真2は弾の鋳型です。葦山反射炉では大砲を作るだけでなく、周りで小規模な炉を作り金属を溶かして大砲の弾などを作っていたようで、大砲本体のものではない鋳型の破片やスラグ(金属を溶かしたときに発生する不純物)がたくさん見つかっています。

これらの出土品は、外国との関わりが少ない中で、試行錯誤を繰り返して作られたもので、当時の人々の「学習」と「努力」の結晶であると言えます。伊豆葦山の地から反射炉の建造、操業を通じて、世界の技術と向き合った職人たちの痕跡を感じることが出来る地域の至宝です。

「鎌倉時代だけではない！伊豆の国市各所に散らばる至宝」の連載に合わせて、伊豆長岡庁舎入口に展示スペースを設置するなど、文化財課としても新たな取り組みを行いました。が、楽しんでいただけたでしょうか? 今回の連載で紹介したのは伊豆の国市の歴史のごく一部ではありますが、文化財通信では、これからも地域に眠る文化財にスポットを当て、皆さんに興味を持ってもらえるよう紹介していきます。

※伊豆長岡庁舎1階ロビーで、広報10月号・12月号で紹介した葦山中学区の遺跡から出土した遺物を展示しています。ぜひご覧ください。